

ODA 政策協議会 2018 年度第 1 回：議案書（報告事項）
「プロサバンナ事業に関する河野太郎大臣「指示」と反する現状について」

（特定非営利活動法人）日本国際ボランティアセンター、（特定非営利活動法人）アフリカ日本協議会、モザンビーク開発を考える市民の会

プロサバンナ事業をめぐっては、本協議会で問題提起してきた。2017 年 2 月には、現地市民社会組織「プロサバンナにノー！ 全国キャンペーン」が、JICA による現地社会への直接介入（地元コンサルタントを雇っての調査・介入、「賛成派」NGO への巨額のコンサルタント契約など）を非難する公開書簡を JICA 理事長宛に発出した。そして、2017 年 4 月には、地域住民 11 名が、JICA 環境社会配慮ガイドラインに基づく異議申立を行った（受理 5 月）。一連の出来事を受けて、2017 年 12 月の ODA 政策協議会では、外務省の判断で事業が一旦止めたことが明らかにされている。

その後、以下の通り、3 月に河野太郎・外務大臣の「指示」が通達される一方で、これに反した動きが継続したことを受けて、6 月に現地市民社会組織から声明、日本の NGO から大臣宛要請が出されている。これらの点について、報告したい。

【前回 ODA 政策協議会時に見られた変化の兆し】

- ① 2018 年 3 月 1 日の ODA 政策協議会前に、梨田和也・国際協力局長の代理として牛尾滋審議官から NGO に対し、河野大臣の「指示」が読みあげられた¹。その際、「反対派を含む参加型意思決定ルールに基づく議論の実現」を今後の支援条件とすることが明言された。
- ② 2017 年 12 月 13 日の ODA 政策協議会時に外務省として確認すると述べていた州農務局長の発言（録音）について²、3 月 1 日の協議会時に「人権侵害」にあたるとの外務省牛尾滋審議官の見解が共有された。

【この後の動き（3 月）】

- 以上の①②のいずれも、文書の提示、その正確な記録をめぐってやり取りが 5 月まで続き、7 月 2 日現在、①については読み上げとその後のやりとりの記録が、②については「人権侵害」と認める発言の議事録が確定した（②における渡辺の発言で未確定・調整箇所あり）。
- ①について、3 月半ばに現地の異議申立人や市民社会組織（「キャンペーン」）と

¹ <http://mozambiquekaiatsu.blog.fc2.com/blog-entry-342.html>

² <http://mozambiquekaiatsu.blog.fc2.com/blog-entry-303.html>

共有した。現地からは、上記の大臣「指示」が異議申立審査結果を受けたものとして出されているものの、審査報告書と JICA 意見書への申立人の意見書は未だ出ておらず、審査プロセス自体が終っていない段階での大臣の結論・指示が急がれたことは不適切との見解が示された。このため、日本の NGO からの確認のため、河野大臣との面談要請が行われた。

- このやり取りの最中に、以下の「4 月 4 日会合」に向けて、現地市民社会組織（「キャンペーン」）が「現地市民社会への介入」と受け止めた動きが再び活発化した。
- 以上を受けて「キャンペーン」から河野大臣宛に書状が送られ、市民社会への介入の継続に異議が唱えられた（3 月 22 日）。
- また、異議申立人の代理人から、JICA 理事長宛に書状が送られ、異議申立プロセスが終っていないことについての指摘がなされた（3 月 22 日）。

【4 月 4 日会合】

- モザンビーク農業食料安全保障大臣主催の 4 月 4 日の会合について、開催にいたるプロセスが、それまでの不透明で非民主的な手法と何ら変わりがないとして、不参加を決めた現地市民社会組織（「キャンペーン」・農民団体）などは、3 月末に研究者にこれを伝えるとともに、農業大臣宛書簡と声明をつくり、4 月 3 日に発表した。
- 同じ時期、この会合の詳細を外務省に問い合わせ続けたが、情報の一端が示されたのは 2 日前であり、会合に JICA が資金を出すことが明らかになり、日本の NGO から中止を申し入れた。
- しかし、会合は開催された。
- 会合後、招待状に受領印があったこと、「キャンペーン」の加盟団体も参加していることをもって、この会議が大臣「指示」どおりの「反対派を含む参加型意思決定ルールに基づく議論」だとの主張が外務省/JICA によって行われた。

【その後】

- 議員の協力で入手した 4 月 4 日会合の議事録には、反対があっても前に進めるとの言及があった。これは、大臣の「指示」に反している。
- さらに、会合後に「キャンペーン」団体に送られてきたスケジュールには、JICA の資金で今後のスケジュールの詳細が書かれていた。これによれば、マスタープランづくりが 8 月に終了する予定で進められるとのこと。

【現在】

- これを受けて、6 月 6 日に「キャンペーン」が声明を発表し、現地新聞等に掲載された。<http://mozambiquekaiatsu.blog.fc2.com/blog-entry-343.html>
- 以上を受けて、6 月 22 日、日本 NGO が河野大臣への要請を提出。

<http://mozambiquekaihatsu.blog.fc2.com/blog-entry-346.html>